

安全のために必ずお守りください

ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するための重要事項を警告・注意に分けて示します。必ずお守りください。

警告 取り扱いを誤ると、死亡または重傷などを負う可能性があります。

注意 取り扱いを誤ると、傷害または物的損害などが発生する可能性があります。

お守りいただく内容を次の絵表示で区別し説明しています。

してはいけないこと (禁止)を示します。 **必ずすること** (強制)を示します。

警告

- 禁止**
- 天板・底板・棚板には、1枚当たり200kg以上の荷物をのせない。
転倒や破損によるケガの原因になることがあります。
 - 足場の代用としてよじ登ったり、寄りかからない。
転落や製品転倒によるケガの原因になることがあります。

注意

- 必ず実施**
- 組立てはこの取扱説明書の手順にしたがい、必ず専用部品を使用する。
手順を誤ると、組立て中に部品がはずれたり、倒れたりして、ケガの原因になることがあります。
 - 移動のときは、収納している物を全て降ろし、安全ピンが差し込まれていることを確認し、必ず支柱を持って動かす。
結合部がはずれ、ケガの原因になることがあります。
 - 床面が丈夫で平らな場所に水平になるように設置する。
転倒によるケガの原因になることがあります。
不安定な地面に設置するときは、必ず厚い板などを敷いてください。
 - 地震などにより転倒のおそれがあるときは、転倒防止の処置をする。
クサリなどで固定してください。

- 禁止**
- 棚板からはみ出すような物はのせない。
転倒や破損によるケガの原因になることがあります。
 - 棚板には重い物を直接のせない。
棚板の変形や荷物の落下によるケガの原因になることがあります。
重い物をのせるときは、必ず板などを敷いてください。

- 分解禁止**
- お客様で自身で改造はしない。
ケガの原因になることがあります。

アフターサービスならびに品質に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店または下記までご連絡ください。

エムケー精工株式会社 〒387-8603 長野県千曲市雨宮1825
TEL 026-272-4111 (代)
FAX 026-274-7089 (代)

[支店]	札幌支店	TEL 011-881-7311	名古屋支店	TEL 052-461-7261
	仙台支店	TEL 022-258-3861	金沢支店	TEL 076-264-1115
	東京支店	TEL 03-3604-6441	大阪支店	TEL 06-6386-5800
	静岡支店	TEL 054-238-0111	四国支店	TEL 087-868-6781
	新潟支店	TEL 025-287-0911	広島支店	TEL 082-871-7355
	長野支店	TEL 026-272-8701	福岡支店	TEL 092-612-1077

強力スチール棚

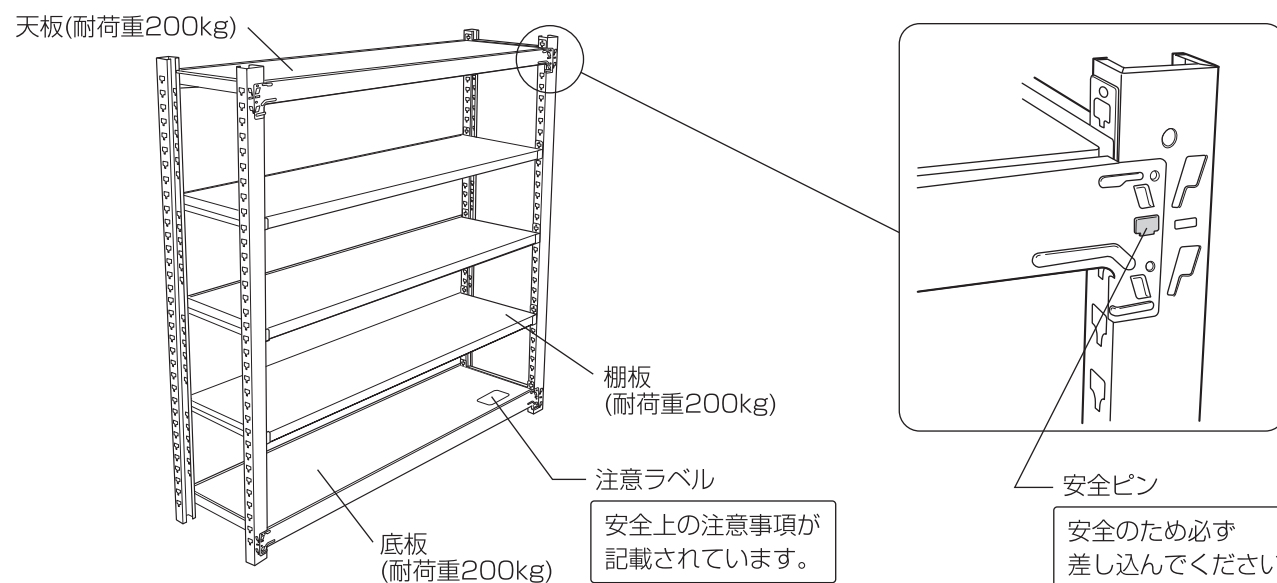


取扱説明書

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。この取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は大切に保管してください。

各部のなまえと使い方

強力スチール棚は180・150・120・90の4タイプの幅があります。本取扱説明書は幅180cmタイプを例に組立ての説明をしています。



耐荷重について

各部品の耐荷重は、平均的に荷重を加えた状態を想定しています。荷重が一点に集中すると変形することがあります。

部品一覧

組立ての前に部品と数量をご確認ください。

支柱 4個	天板 裏面に品質表示ラベルが貼ってあります。 1個	ビーム（横棧） 4個
	底板 注意ラベルが貼ってあります。 1個	棚受け（大） 丸穴が1ヶ 4個
	棚板 3個	棚受け（小） 丸穴が2ヶ 6個
		安全ピン 8個

お手入れ方法

- 汚れたら、洗剤をうすめた水またはぬるま湯にやわらかい布をひたし、よくしぼってから拭き取って下さい。
- シンナー・ベンジン・クレンザーなどは使用しないでください。

組立順序

用意していただくもの

- **金属製のハンマーまたはプラスチックハンマー・木づち**
製品組立て時のキズや変形を防ぐため、当て板などを用意してください。
プラスチックハンマーや木づちなどの軽いハンマーを使用すると組立てしにくい場合があります。かん合部がきついときは、金属製の重いハンマーを使用してください。
- **手袋**
組立てのときは、通常使用するところ以外に手が触れてケガをするおそれがありますので、必ず手袋を着用してください。
- **厚い板など**
設置する地面が柔らかい場合や不安定な場合は、支柱の下に厚い板などを敷いてください。

組立て時の注意

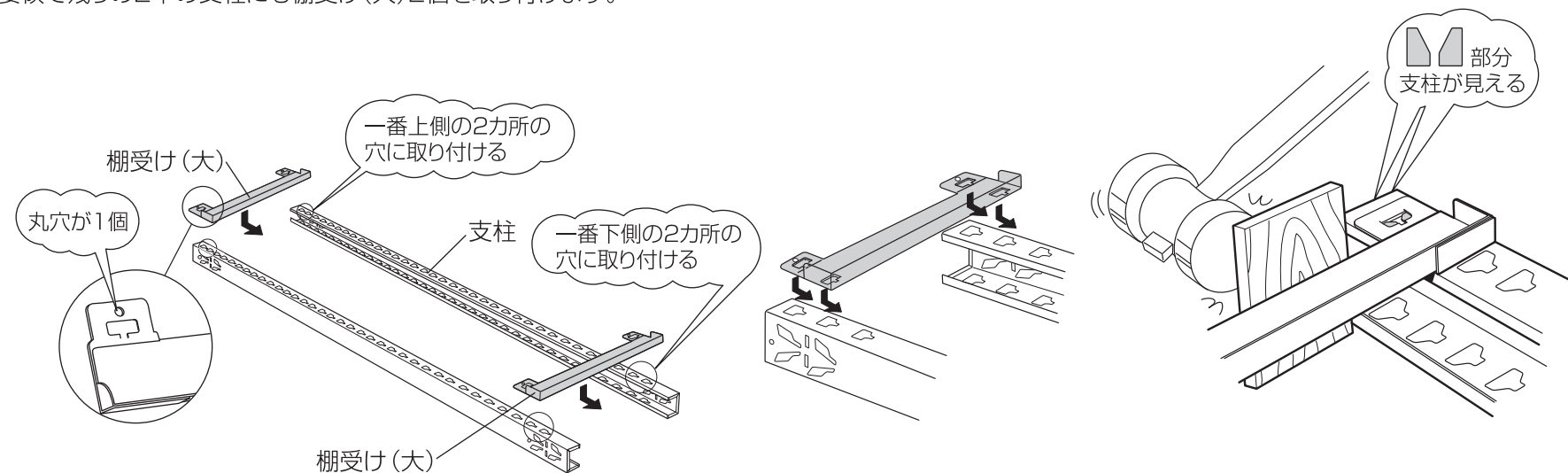
- 組立て場所を十分に確保して作業してください。
- 組立て時のキズを防止するため、組立て場所の床にダンボールなどを敷いてください。
- 安全のため2人以上で組立ててください。
- この製品は、全ての部品を取り付けることにより、強度を保っていますので、全ての部品を必ず確実に取り付けてください。
- 部品はきっちりとかん合するまで十分に打ち込んでください。かん合が浅いと強度不足になったり、部品がはずれるおそれがあります。
- 部品を取り付けるときに、ハンマーで手を打ったり、部品で手をはさまないよう充分注意してください。

1 棚受け(大)を支柱に取り付けます。

- 支柱2本を下図のように平行に置きます。
- 支柱の▽形状をした穴の一番上側2カ所と棚受け(大)の2カ所の切り起こしを合わせます。
- 棚受け(大)の上側をハンマーでたたき、しっかりと支柱に打ち込みます。
- 同様に支柱の一番下側2カ所の穴にも棚受け(大)を取り付けます。
- 同じ要領で残りの2本の支柱にも棚受け(大)2個を取り付けます。

ご注意

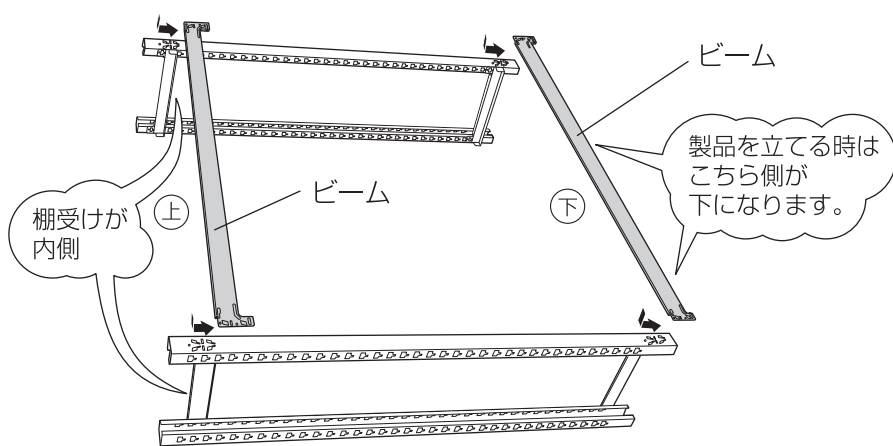
棚受け(大)は初めから強く打ち込まず、様子を見ながら少しずつしっかりとかん合するまで打ち込んでください。



2 ビームを取り付けます。

お願い 安全のため2人以上で組立ててください。

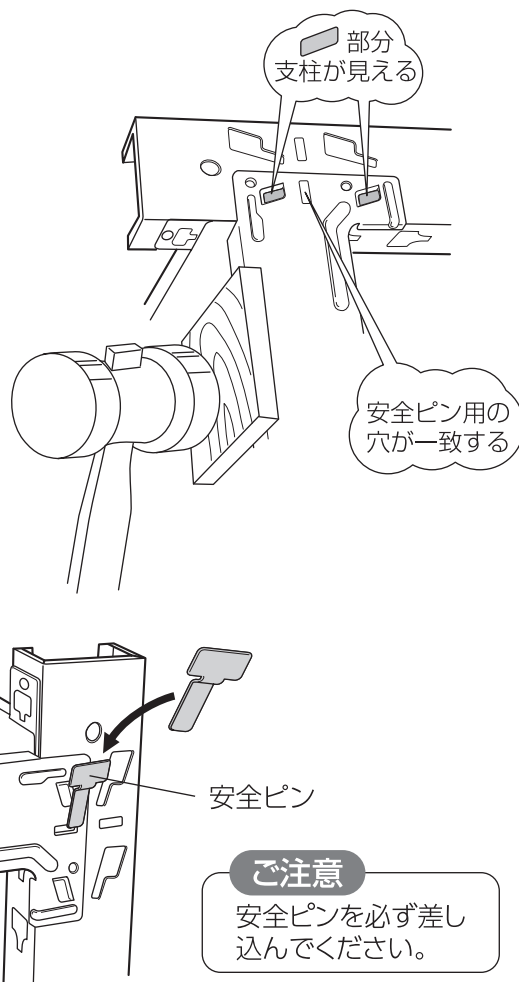
- 組立順序1で組立てた支柱を、棚受けが内側に向くように起こします。
- 下図を参考に支柱の穴とビームの切り起こしを合わせ、ハンマーでビームの上部をたたいてしっかりと支柱へ打ち込みます。
(ビーム2本を支柱の上下2カ所へ取り付けます。)



- 支柱を静かに立てます。
- 同じ要領で残りのビームを支柱の反対側に取り付けます。

確実に結合させると安全ピン用の穴が一致して安全ピンが差し込めるようになります。

- 安全ピンをビームの左右8カ所に差し込みます。



ご注意

安全ピンを必ず差し込んでください。

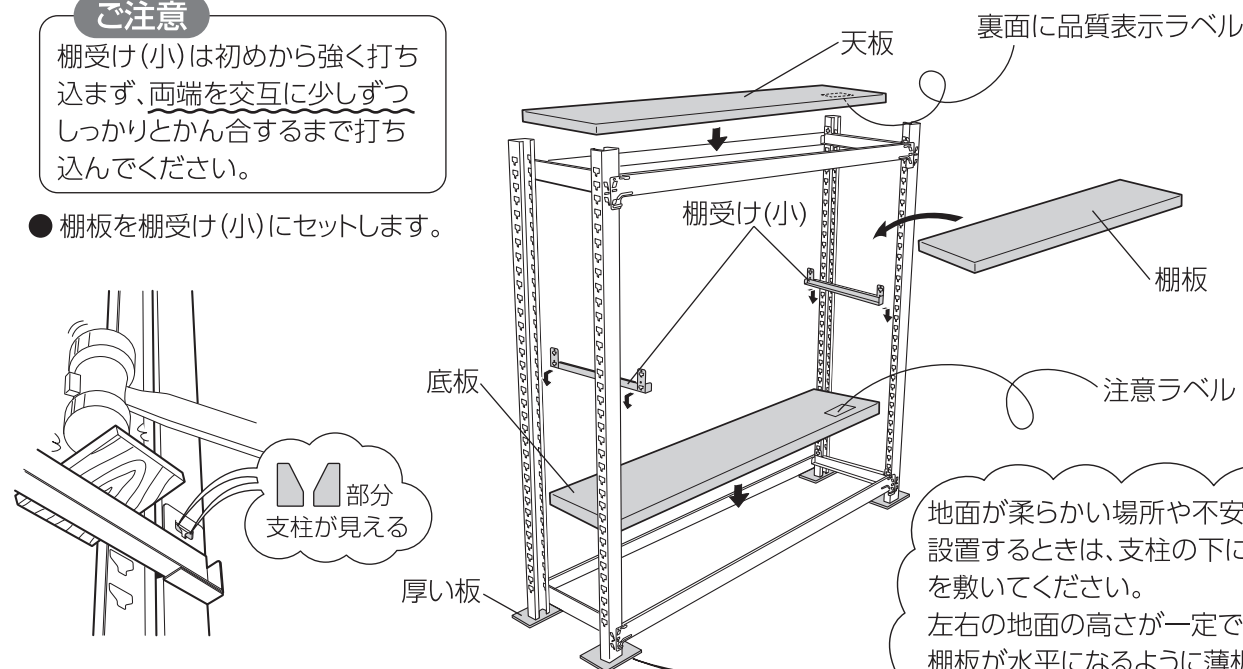
3 天板・底板・棚板をセットします。

- 最上部に天板をセットします。
- 最下部に底板をセットします。
- 支柱の▽形状をした穴2カ所と棚受け(小)の切り起こしを合わせます。
- 棚受け(小)の上側をハンマーでたたき、しっかりと支柱に打ち込みます。(2カ所)

ご注意

棚受け(小)は初めから強く打ち込まず、両端を交互に少しずつしっかりとかん合するまで打ち込んでください。

- 棚板を棚受け(小)にセットします。



お願い

最後にもう一度各部にゆるみがないか、安全ピンが差し込まれているか、確認してください。

地面が柔らかい場所や不安定な場所に設置するときは、支柱の下に厚い板などを敷いてください。
左右の地面の高さが一定でないときは、棚板が水平になるように薄板などで高さを調整してください。